

企業会計特別委員会

11月8日

市企業局長以下、職員の出席を求め、先般の断水事故及び交通船事業の上半期の事業報告を提出させた。

(1) 交通船事業について
企業局長より平成18年度江田島市企業局交通船事業報告書に基づき中間報告があった。

損益計算・営業収益、約500万円の減、営業費用約3,300万円の増、営業損失約6,254万円が生じており、昨年同期は約2,250万円の損失であり、当年度欠損金損失(9月末)は約6,254万円で、前年度繰越欠損金を加えて約1億8,958万円となることの説明を受けた。

Q 今のまま行けば年間の赤字はいくらか。現在まで進展はありましたか。
A 高田港止めと人件費について組合と折衝し一部削減、能美航路は江田島航路と比べ遠い、本市だけでなく民間も苦

しい。両者でいろんな協議をしています。

Q 起債の償還金はどうか。
A 年間約4,300万円です。平成21年度からは約2,500万円に減る予定です。

Q 油が上昇したらまだ赤字が増える。平成18年度末で累計2億4千万円になる。今後、設備費がかかるが問題はないか。
A 油の高値は続くと思える。1億余りという大きな数字で一度で解消できる数値ではありません。

Q 改装工事をして経費の節減、フェリーの高田港止めにより1千万円の削減となり、いろいろ検討しております。
A 中町港からのフェリーを全便止めるとどのようになるか。
A 全便止めることはできません。12便あるフェリーを5便減し7便にするのと1,200万円の歳出減となります。

(2) 水道事業について
今回の断水により、収益は昨年の8月・9月と比べ調定額が約1,800万円ぐらいい減っております。

平成17年度の決算で約2,500万円の利益が上っておりますが、今回1,800万円減の調定額ですから、平成18年度決算におきましては、利益は上がってこない。

Q 値上げの予定はないか。
A 今のところ収益があり、値上げの時期は尚早と思っております。

Q 海底管は新たに敷設することはしないのか。
A この度の調査の結果敷設時と比べほとんど傷んでいないため、向こう10年間必要がない。敷設費用は5億円ぐらいいかかります。



▲津久茂瀬戸を航行中の市営船

総務常任委員会

11月21日勉強会を開催しました。

8月25日の断水事故について、総務部長・消防長以下担当課長から詳細なる説明を受けた。その後、各委員からは、それぞれの角度から活発な質問・意見があったが、主なものを報告します。

Q 給水場所及び設置数は十分であったか。
A 十分であったとは言えないが、人員・機材等を考えると充分であったと思う。

Q 消防署・消防団の活動状況はどうか。
A 災害対策本部・給水船対策室・現地対策本部の4つで断水災害に対応した。送水活動をしたのは、8月27日から9月11日までの16日間、活動人員は消防団・消防本部を含め199名、車両台数67台、海上自衛隊給水船延べ57隻・民間船54隻。ほかに消防団は各方面隊分団ごとに、区民会・自治会と協力して救援物資を搬送・配付するボラ

ンティア活動に延べ76名
自治会・区民会各団体への情報提供の状況は。

Q 当初は直接情報提供はしませんでしたか。
A 本部からの連絡事項として情報を提供し、市民の理解と協力を得るよう努めました。

Q 今回の断水事故を後世の教訓として残したい。
A この教訓を一過性のものにするのではなく、危機管理課で問題点を集約し、今後の市民生活の安全・安心に役立てるよう考えている。

付帯意見
① 当初防災無線の放送が適切ではなかったのか。「情報は正確・適切に」
② 市民の理解と協力が得られるよう、まず自治会・区民会に要請を。
③ 隣近所が助け合い、自分たちができることは自主的に活動。
④ この経験を生かし、マニュアル作成を。

文教厚生常任委員会

11月29日

【教育委員会関係】

学校統合の進捗状況ほか2件について、教育長・教育部長及び生涯学習部長等が説明。

(1) 学校統合の状況
切串中学校と江田島中学校の統合説明会を計6回開催し十一月に覚書に調印しました。
(2) 江田島中学校校舎建設の予定
平成20年7月に校舎を

完成させ江田島中学校生徒は、夏休み中に移転。旧校舎解体。その跡地に江田島小学校校舎建設の予定。21年4月から切串中学校と統合し新制江田島中学校がスタートします。



▲小用小学校（江田島中学校建設予定地）

【福祉保健部関係】

保育園の運営(答申)

について、福祉保健部長及び担当課長等が説明。7月に保護者アンケートを実施。断水事故で延期された運営検討委員会の答申が11月24日に提出され次年度予算に反映さすよう努力します。

Q 江南、飛渡瀬保育園の統合は。
A 答申の通り施設面積が広く60人の定員設定等を考慮し飛渡瀬に統合の計画で保護者に説明会を開きます。

Q 保育料と給食費の滞納が増加している。
A 督促状の送付、催告、給料等の差押さえ等の取組みをします。

Q 小、中、保育園が無くなる地域の住民感情は地域バランスを考慮しても素直に受け入れられない。
A 例えば、沖保育園の園児の一人当たり、約七百万円弱の行政経費は市民感情としてどうかと思います。

準は。
A 国の定める配置基準6人に対し本市は8人で、延長保育一時保育にも対応出来ます。
Q 施設の整備・改築等は慎重に。
A 無駄にならないよう考えます。
Q 幼稚園と保育園を併せた認定子ども園の設置は。
A 保育料保育時間等の問題があり今後の検討課題ですが教育委員会とも協議します。

一般質問 Q&A



A

持続可能な財政構造へ

市長

来年度予算編成は

山本 信勝 議員

Q 厳しい財政状況のなか、将来に向かって希望の種を蒔く予算になるのか、来年度予算編成を聞く。

A 一般財源ベースによる予算要求枠(シーリング)方式を設定。具体的には単独の普通建設事業は対前年度当初対比

85%以内、普通建設事業以外の経費(人件費・公債費・扶助費の義務的経費は除く)は、対前年度当初対比90%以内を目標にし、長期総合計画等に基づき江田島市らしい元気なまちづくりを推進するため、総額3千万円を上限とするソフト事業を

創設します。

国の行財政改革など地方にとって非常に厳しく、本市としては、行財政改革の更なる推進を図るとともに、できるかぎり起債発行額・基金取崩額を抑制し、持続可能な財政構造への転換を目指します。

